




決 裁	議 長	局 長 等	次 長	リ ー タ ー	担 当	合 議
						

令和6年3月3日

養父市議会議長 様

議員氏名 西垣 司

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 活動月日 令和6年2月4日
  - 2 活動場所 全国町村会館2階ホール
  - 3 活動者氏名 西垣 司
  - 4 活動内容 「政策サイクル推進地方議会フォーラム」公開セミナー  
ミライの議員・議会のために  
～住民福祉の向上と地方議会の政策サイクル～ 受講
- 13:40～14:30 講演「ミライを展望した地方議会の政策サイクル」  
講師：大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏
- 14:35～15:25 講演「コミュニティ自治とミライの議会」  
講師：東京都立大学法学部教授 大杉 覚 氏
- 15:25～16:15 実践報告「議会は住民自治のプラットフォーム」  
講師：兵庫県西脇市議会議員・前議長 林 晴信 氏
- 16:25～17:25 パネルディスカッション  
「ミライの議会・議員のために」  
イマの議会・議員に求められるもの」  
パネリスト 江藤俊昭 氏 大杉覚 氏 林晴信 氏  
コーディネーター 千葉 茂明 氏



## 5 活動成果

### 『ミライ議会と持続可能性』

議会における持続可能性はあらゆる講演において聞かされる言葉である。

これは多様性社会の中で持続可能が難しい時代に突入したことでもある。

議会も決して例外ではなく、ミライ議会は継続性・惰性とは異なる変革志向が問われる。ミライ議会は女性、若者が持続可能に必須とされています。

この度の講師方も女性、若者の議員を望んでいることは将来大切なことではあるが、この女性、若者問題に関しどの講師方もこれぞと云った策は無くあらゆる環境問題・都市部と地方においても大きく異なる。

納得できる策は首長、議員、住民が共有課題に取り組む必要があるが、先ず〇  
私たち議員が共通認識し協働することが必要ではと感じた。